

(別紙様式)

(A3判横)

2019年度 学校自己評価システムシート

(秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
重点目標	1 自主学習習慣を身に付け、生涯にわたって真理を追究する力を育成する。 2 集団や社会の中で互いの個性を尊重し、健全に生活する力を伸ばす。 3 家庭と連携し、持続可能なより良い社会の創生を目指して自己実現を図る志を養う。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (3月31日現在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 誓いの言葉、自学自習の記録により、目標を立てて具体的に努力を積み重ねる指導を行っているが、目標の明確化や学習意欲に課題があり、自主学習習慣に個人差がある。 思考力・判断力・表現力を育成するためにスキルコードを開発し、指導と評価を一体的に改善しているが、指導・評価両面において改善途上にある。 	自主学習習慣の確立と学力の向上 授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「自学自習の記録」を用いて生徒の現状を的確に把握する。 PGTプログラムにより、生徒が主体的に活動し、課題に取り組み、校内発表を行う。 授業・定期考査においてスキルコードを活用し、「知る喜び」を実感させる学習指導を行う。 研修授業でスキルコードを活用し、教科で事後検討会を行って、授業改善を行う。 	①「自学自習の記録」による自主学習習慣の状況 ②生徒のレポート、発表内容、ポートフォリオ ③授業・定期考査におけるスキルコードの活用状況 ④研修授業の実施結果、検討会の状況 ⑤授業アンケートの改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習の記録は担任が毎日確認し、「1日を振り返って」の欄にコメントを記入した。 夏休み中に各学年でPGTプログラムの探究活動に取り組み、文化祭で展示・発表を行った。 大学教員、系列校教員と協同して、資質・能力をスキルコードで可視化した実践を蓄積し、書籍を出版した。 定期考査の問題にはスキルコードを記入し、出題の狙いを生徒にも周知できた。 研修授業の指導案にはスキルコードを用いたロードマップを明記し、生徒を主体的で深い学びへ導く過程を可視化した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習の記録は、各授業でどのような取り組みをしたかの記録をより充実させる。 新型コロナウイルス感染拡大により、3年生の校内発表大会を実施することができなかった。 スキルコードにより、主体的で深い学びへとさらに授業改善を進める。
2	<ul style="list-style-type: none"> 心の学習を中心に、基本的な生活習慣を確立し、自他を尊重し、学校生活をより良くする指導を行っているが、人間関係能力の向上に課題がある。 社会性を高めるために5つの約束を順守する指導を行っているが、インターネット等の影響により規範意識に課題がある。 父母から授かったかけがえない命・身体を互いに大切に指導を行っているが自己管理意識や自己肯定感の低さ等に課題がある。 	心の学習 5つの約束 健全な生活	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を事例に、正しい判断力や思考力を身に付けさせる。 頭髪・身だしなみの指導は、学年ごとに指導する。 いたわり・思いやりの気持ちを醸成させる。 「善いことと悪いこと」「許せることと許せないこと」の区別をきちんと理解させる。 生活アンケートや面談の実施によりいじめの防止に努める。 各種訓練、講演会の実施と事前・事後の指導。 	⑥新聞記事の活用状況 ⑦頭髪検査の合格状況 ⑧生徒の人間関係の状況 ⑨「心の学習」の題材に対する「自学自習の記録」の記載内容 ⑩生活アンケート、面談の実施状況 ⑪危機管理マニュアルに基づく各種訓練、サイバー犯罪、薬物乱用防止等の講演会の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を教員が毎日選んで教室に掲示した。 頭髪検査を学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導時から随時行った。 文化祭・体育祭等の学校行事では、協同して取り組むことができた。 人間関係のトラブルを早期に捉え、面談等を通して、保護者と協力して解決した。 パラリンピアン奏由加子選手の講演会の感想文は様々な問題を自分のことと捉え、自らの意見をまとめることができた。 担任との面談を2週間に1回行った。また、生活アンケートは月に1回以上実施した。 避難訓練は年に3回、犯罪被害防止講演会を1回行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を元にした意見発表、討論まで指導のレベルを引き上げる。 「いかなるいじめも許さない」という学校の方針を堅持し、指導を継続する。 「心の学習」指導の結果を共有させ、学校生活の向上を自律的に行えるようにする。 2週間に1回以上の面談、月1回以上の生活アンケートを継続する。 次年度もサイバー犯罪、薬物乱用防止等に関する講演会を実施し、正しい判断力、思考力を養う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携し、保護者の立場に立って、有為な社会人としての資質の育成を行っているが、保護者会等への参加率に向上の余地がある。 PGTプログラムや秀明大学特別授業を行っているが、進路意識や自己肯定感を高めることに課題がある。 社会貢献の志を高める指導を行っているが、経済優先の風潮の中で、持続可能性を意識した徳心が育っていない。 	家庭との「共育」「協育」 進路意識の向上 持続可能な社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会・授業公開・三者面談を行い、学習面や生活面について、十分な話し合いの場を設ける。 PGTプログラムにより学年に応じたキャリア教育を行う。 秀明大学特別授業の感想、学校行事の振り返りなどを行う。 全ての学習をSDGsの視点で捉え、地球社会への貢献を意識して活動させる。 ユネスコスクール登録に向けて実践を積み重ねる。 	⑫保護者会、授業公開、三者面談の状況 ⑬進路希望状況 ⑭学習活動記録を作成 ⑮SDGsの学習活動記録	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会(2回)、授業公開(1回)、三者面談(2回)を実施し、多数の参加があった。 2学期の保護者会は秀明大学で行い、充実した施設・設備を保護者に見てもらうことができた。 希望する進路(高校でのコース)が決定した。 全ての学びの記録を1つのファイルにまとめることができた。 校外学習ではSDGsの考え方にに基づき、事前・事後の学習を充実させた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会には今年度以上の参加を呼びかけ、学校と家庭の「共育」、「協育」を促進させる。 来年度1学期の保護者会は新型コロナウイルス対策を講じる。 特別進学コースに数多く入れるよう学力を伸ばさせたい。 学習記録の蓄積だけでなく、その活用を促していく。 SDGsに向けて生徒一人ひとりが行動できるよう担任は教科横断的に生徒を指導し、その記録を蓄積する。

学 校 関 係 者 評 価
実施日：令和2年6月19日
<ul style="list-style-type: none"> 毎日、先生との記録のやり取りで信頼関係が築け、自主学習へのアドバイスを受けていただくことで、積極的に取り組めた。 ITやソフトウェアを活用し、自主学習を促す試みは非常に効果的であると感ずる。 定期考査の前に検定テストがあり、できなかった問題は復習を重ねることで身に付き、自信を持って定期考査を迎えることができた。 授業は先生が子供たちを楽しそうに学べるよう考えて授業を行っているので、勉強も楽しく、わかりやすく学べた。
<ul style="list-style-type: none"> 月に一度の全校集会の実施により、頭髪・身だしなみを整える事への習慣がついた。 服装の乱れは心の乱れ、服装も自分に自分に自信を持つための手段。美しい服装を心掛ける指導に感謝している。 先生との面談、アンケートにより、日頃思った事を溜める事なく直ぐに先生に話す環境で、より良い学校生活が送れた。 何かあれば先生に話しができる環境と先生方の雰囲気は、他校ではなかなか感じられない部分なので、保護者としても安心である。 たくさんの訓練、講演会を実施していただき、そこから得る知識や情報、更に考えさせる力を指導、育成している。有為な社会人としての資質の育成になっていると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、授業公開、三者面談では、普段の学校生活や授業の様子がよくわかった。 ITを活用し、効率的に行っていると思う。 マイクロソフト、Googleと世界的大企業への校外学習の機会を得て視野が広がり、ニュースや社会情勢への関心が大いに高まった。 SDGsは壮大な理念であり、世界全体で取り組んでいる事なので、子供達の実生活に近い事柄から取り組めばよいのかと思う。 小さな行動が、将来的には世界的に価値あるものになることに気付けるので、素晴らしいと思う。